

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・ポッポの家療育マニュアルに理念・基本方針は記載し、職員にも周知と理解を促している。 ・また、運営規程や重要事項説明書にも記載し、利用児の保護者に対して周知に努めている。 ・運営規程や重要事項説明書は、園内の壁面に掲示し契約児の保護者への周知に努めている。 		
改善できる点／改善方法：		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県障害福祉課及び岐阜市障がい福祉課、福祉政策課、人事課、指導監査課からの情報伝達や情報収集を行うとともに、インターネットなどからも情報把握を行っている。 ・また、全国の障害児通所施設・事業所等児童期の発達支援にかかわる全国の障害児施設で構成する全国児童発達支援協議会に加入して、施設管理者等研修に積極的に参加している。 ・厚生労働省障害福祉課や文部科学省特別支援教育課による行政説明からも情報を得ている。また、東海地方にある医療型児童発達センターの連合体である東海地区児童発達センター連絡協議会に加入し、利用者の推移、利用率等の分析などの検討を行い事業計画に組み入れている。 		
改善できる点／改善方法：		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市だけでなく組合を構成する6市3町の各種福祉計画の策定状況や内容に留意し、各市町における数少ない旧医療型の児童発達支援センターとしての役割を自覚し、各市町からの要望に応えられるよう取り組んでいる。 ・また、経営課題については、職員会議等で問題提起し、共有しつつ随時検討を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の目標管理制度により、中・長期計画を策定している。岐阜市長の指示や岐阜市総合計画等から導き出された組織使命、使命に対応して施策・事業の目的・目標、住民・議会からの要望等の外部、内部要因から抽出した組織の課題を設定している。 		
改善できる点/改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の目標管理制度により、単年度計画を策定している。園の抱える課題の中から特に当該年度に対応する必要のある重要な課題を決定している。計画の各項目について、具体的な目標指標を設け、客観的な評価が行えるよう、数値化された目標指標を掲げ、PDCA サイクルを導入して評価を行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標管理制度においては、組織の重点目標を各職員に割り振り指示を行い、職員は必ず当該年度において、1項目以上の組織の重点目標項目を取組むことになっている。 ・評価は、9月末現在の上半期と12月末現在と2回、個別面接を行って評価している。さらに、その結果が、昇給や昇格等に生かされている。また、組織の重点目標を設定する際には、目標設定面接を行い、各職員からの意見を聞いている。重点目標については、各年度新たな目標が設定できるようにしている。 		
改善できる点/改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、年度初めに保護者への説明会を実施し、説明会の中で新規事業や昨年度からの変更事項などとして説明している。また、園だより(毎月)や園内掲示により定期的に周知・徹底を図っている。 		
改善できる点/改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ	①・b・c

	れ、機能している。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の目標管理制度を運用し、PDCA サイクルによって本園の提供する福祉サービスの質の向上に努めている。さらに、年間の研修計画を作成し、計画的に職員の研修を実施し、職員の資質の向上に努めている。 ・第三者評価については、定期的に3年毎に受審し、業務の改善に努めている。 ・また、毎年、国の児童発達支援ガイドラインに基づき事業所全体の自己評価を実施している(今年度は5月に実施済みである)。 		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県地域福祉事務所・岐阜市障がい福祉課・指導監査課による実地指導を毎年受審しており、それらの指導に基づき改善を行っている。 ・また、毎年自己評価のための保護者向けアンケートを実施し、保護者の意見を参考に改善点を取りまとめている。アンケート結果は、職員会議により全職員が情報を共有している。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者は、毎日の朝礼や毎週水曜の職員会議で随時組織運営に関する課題や考え方を明らかにしている。 ・また、目標管理制度において、年数回の個別面接で指導を行っている。全ての決定事項は、決裁によって組織内決定されており、それによって園内部の事項の掌握を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者は、組織の重点目標設定票 3外部・内部の環境要因(国)の欄において、関係する主だった法令を示すとともに、障害者虐待防止法などについては自らが講師となって、職員研修を行っている。 ・また、岐阜県や岐阜市の集団指導やし、一般社団法人全国児童発達支援協議会の施設管理者等研等に参加し、厚生労働省や文部科学省による行政説明により幅広い知識の取得に努めている。さらに、岐阜市福祉政策課や障がい福祉課に訪問し、幹部や担当者と随時意見交換を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉖・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者は、目標管理制度における組織の重点目標を作成するにあたり、組織の課題を毎年見直し、当該年度に取り組むべき重点目標を設定している。 ・また、特に緊急に対応すべき重点課題については、担当職員を指名し、チームによって課題を検討するよう指示をおこなって、福祉サービスの改善に努めている。 ・研修については、年間の研修計画に基づき、計画的に職員に研修に参加させている。 		
改善できる点／改善方法：		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉖・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市人事課や福祉政策課と密接に連携し、岐阜市職員の処遇に準じた人事管理・労務管理を行っている。 ・財務については、岐阜市会計課や契約課と連携して、岐阜市に準じたシステムを行っている。 ・目標管理制度に基づく個別面接を通じて、職員の不安や悩みを素早く汲み取り、対応できる仕組みを構築している。 		
改善できる点／改善方法：		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉖・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、保育士2名、医師、看護師の医療・福祉の有資格者を配置し、契約児童の保護者からの専門的な要望にも対応できるよう体制を整えている。 ・また、厚生労働省の外郭団体である心身障害児医療療育センター研修にも職員を定期的に参加させ、専門性の確保と先進技術の取得に努めている。さらに、PTや保育士の養成校からの実習生を受け入れ、福祉人材の確保ができるよう養成校と連携を図っている。 		
改善できる点／改善方法：		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉖・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待する職員像については、「ポッポの家療育マニュアル」に記載している。 ・人事基準・処遇改善については、「岐阜地域児童発達支援センター組合において岐阜市の条例を準用する条例」第1条第2項に基づき、岐阜市の職員に準じた処遇を行っている。また、岐阜市の目標管理制度を活用した人事考課制度によって、職員の能力や職務に対する成果を客観的に評価している。 		
改善できる点／改善方法：		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		

16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者は、休暇の取得状況や勤務状況に基づき職場環境の管理を行っている。 ・子育て中の職員に対しては、業務の負担の軽減などの配慮により、ワークライフバランスに配慮した環境づくりを行っている。 ・健康維持については、職員全員に定期健康診断を受信させ、結果の写しを提出させることによって、職員の健康状況を把握している。また、岐阜市職員厚生課の保健師からも助言を受けて健康管理に配慮した取り組みを行っている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年5月に改正地方公務員法が公布され、平成28年から人事考課の結果を給与に反映することが義務付けられた。そのため、本園も目標管理制度に基づく人事考課制度を実施している。 ・毎年、組織の重点目標設定のための面接と年2回（6月末及び12月末現在）の面接による業績評価面接によって、数値目標の達成状況を確認している。 		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度の当初には、園の外部や内部の年間の研修計画を作成し、職員の知識・技術の向上に努めている。その際には、その年の研修で特に力を入れて研修する水泳療育や給食指導などの重点項目を定めている。研修計画は、毎年見直し、組織の重点目標や社会情勢の変化に対応できるよう工夫している。 		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の研修計画作成の際には、職員個人の希望を徴するとともに、特定の個人の意向や特定分野に研修が偏ることのないよう配慮している。また、研修の参加者には、職員会議において研修結果を発表されるとともに、研修の内容を現実の療育の中でどう生かすかを記載した、復命書を作成するよう義務付けている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成校作成の「実習要綱」等に基づいて、実習生の受け入れ体制を構築している。 		
改善できる点／改善方法：		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉖・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年にホームページを一新し、見やすいホームページに改善した。また、掲載項目も増やし情報公開に努めている。また、組合を構成する9市町の保健師を対象に公開療育を行い、当園の療育の取組を公開するとともに、参加事業者と意見交換も行っている。 組合を構成する9市町の首長や議長を対象にした組合議会や市町の担当主管部課長を対象にした会議を年2回開催し、財務や事業について承認を得ている。 		
改善できる点/改善方法：		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉖・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方自治法第292条を準用する同法第233条第2項の規定より、元岐阜市監査委員会監査委員（勤）及び本巣市長を監査委員として、毎年財務や事業について監査を受審している。 また、毎年の岐阜県地域福祉事務所・岐阜市の実地指導を受審している。監査及び実地指導の資料は、職員全員に配布し、情報を共有している。 		
改善できる点/改善方法：		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉖・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏のイベントや運動会などの園行事の際に、近隣自治会の会員の自宅を職員が直接訪問し招待状を手渡している他、学生を中心としてボランティアに協力依頼している。 保育ボランティアは常時募集し、保育の中で活動してもらっている。そのため、ボランティア保険を当園の負担で加入できるよう予算化しているさらに、地域(長良東地区)の主任児童委員を園行事に招待し、本園についての理解を得るよう努めている。 		
改善できる点/改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉖・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏のイベントや運動会などの大きな行事の際には、学生を中心としてボランティアに協力依頼している。 また、保育ボランティアは常時募集し、保育の中で活動してもらっている。そのため、ボランティア保険を当園の負担で加入できるよう予算化している。さらに医療・福祉系の大学の授業の一環としての施設見学を受け入れている。 		

改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関・団体について、個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示した岐阜県発行の「岐阜県障がい福祉の手引」、岐阜市発行の「ぶりあ」や「障がい者の明日のために」を複数常備し、利用児の保護者に対して説明を行っている。 ・職員会議において、最新の地域の関係機関・団体について情報共有を行っている。 ・各市町の保健師等関係機関から依頼のあった障害児の訪問診療・訪問支援を実施し、保健師や子育て支援関係者と連携して支援している。 ・岐阜市障害者支援協議会専門部会に参加し、他施設の相談支援専門員や特別支援学校、訪問看護事業所等との連携を図っている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園行事の際には、周辺事業所や地域の住民を招待し、園の取り組みを見ていただく等、平素から地域との連携を図っている。 ・災害については、近隣の恵光学園、北保健センターと連携し避難訓練を実施している。福祉避難所にはなっていないが、近隣では長良森町の日本児童育成園があるのみであるので、マスコミで報道されているように福祉避難所が不足していることから、災害の際には一定の役割を果たすよう取組を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立の児童発達支援センターとして、地域の住民からの障がい児に対する相談や診察に応じている。 ・これまで岐阜市内の児童発達支援事業所の職員や市町の保健師を対象にして公開療育と意見交換を行い、事業者にも訓練に関する専門的なノウハウを伝えている。 ・主任児童委員を、園の行事に招待し、来園された際には、本園の状況を伝えるとともに、支援の必要な地域の障がい児の把握に努めている。 ・組合構成市町に対して、園の独自事業として訪問診療・訪問指導の一環として保健センターなど行政機関を医師や理学療法士などが訪問し、発達の気になる児童の診察や指導にあたっている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	

28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 療育マニュアルを作成し、標準的な療育の実施方法を規定し、福祉サービスの提供に反映させている。 職員による障害者虐待はもちろん保護者から契約児への児童虐待がないかどうか、職員会議で話し合っている。特に最近、子育てに不安を持っている親や障害児を持ったことを精神的に受け入れない親が増えている。そのため、各職員が、保護者の様子を注意し、親に不安が感じられる場合は積極的に相談相手になるよう指導している。 		
改善できる点/改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営規程にプライバシー保護を規定し、職員にも十分配慮するよう指導している。また、関係機関との連携のため、外部機関への情報提供の際には、保護者の同意書をとって情報提供している。 ホームページに掲載する契約児や保護者の写真、市長訪問等、イベントの際の広報誌に掲載される可能性のある写真については、写真に写った一人ひとりの保護者に掲載の諾否の確認を行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合を構成する市町の障害児担当課や保健センター等には、パンフレットを送付し、利用を希望する保護者に説明を依頼している。 本園の利用を希望する場合は、見学や保育体験を経て、子どもの状況を把握するための診察を行い、その後、契約や外来についての説明を実施している。 		
改善できる点/改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約書及び重要事項説明書を用いて、契約児の保護者に説明を行っている。また、重要事項説明書には、「本書面に基づいて重要事項の説明を受けたことを確認する。」との一文を挿入し、保護者の署名・捺印を徴している。 本園は、旧医療型児童発達支援センターとして、理学療法、作業療法、言語聴覚など医療面での支援が中心となってくるため、それらの実際の訓練の様子を保護者にみてもらいながら説明を行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 本園の児童発達支援の契約を解除し、他の児童発達支援事業者と契約をする場合は、個別支援計画 		

<p>書を事業者へ送付するとともに、担当者が直接電話をして留意事項や注意点を伝達している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、特別支援学校、小学校支援級、保育所（園）、幼稚園へ本園の契約児が、移行する際には、園が独自に作成した引き継ぎ書を送付して、支援の継続性を図っている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援計画の策定のためのモニタリングのために、家庭訪問を実施し、利用者の意向を計画に反映させている。また、契約時、個別支援計画作成のためのアセスメント、個別支援計画を作成し保護者の同意を得る際には、個別面談をそれぞれ実施し、保護者の満足度を高める取組をしている。 ・また、保護者の満足度を把握するため、保護者の親睦団体である親の会を担当する職員を選定し、会合の際に必ず出席させている。 ・親の会の実施するアンケート調査に対して、個別の要望事項に対して、回答書を作成し、保護者に対して説明会で説明している。 ・事業所評価の保護者アンケートを行い、ニーズを把握し、満足度向上に努めている。 ・保護者会担当の職員を配置し、保護者会の総会などにも出席している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決責任者、苦情受付責任者を設置するとともに、学識経験者、障害者団体の代表、地元の代表からなる第三者委員会を設け、苦情解決の体制を整備している。また、玄関には、苦情解決の仕組みを紹介するポスターを掲示するとともに、苦情承り箱を配置し、苦情を申し出でやすい環境をつくっている。 		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や、相談室での相談など様々な機会を設けて家族等との話し合いの機会を持つよう努めている。また、相談の機会以外にも、職員の方から家族に対して積極的に話しかけるよう指導している。 ・訓練や保育を直接行う職員以外にも、相談支援専門員が日常的に声掛けを行い、相談しやすい環境づくりに努めている。 ・親の会のアンケートや自己評価のための保護者向けアンケート、保育や訓練分野に関するアンケートなどを実施し、保護者の意向や意見を聞いて園の運営に生かしている。 		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親からの相談や意見を受けた際に、担当者のみで回答できない場合は、速やかに職員会議にかけて、全職員で対応を検討し、速やかに回答できるよう体制を整えている。場合によっては、対応マニュアルを改訂し、保護者からの相談や意見によって柔軟な対応ができるよう努めている。 		

<p>・職員が積極的に保護者に接触し、相談しやすい環境づくりに努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育支援リスク管理マニュアルを作成し、リスクマネジメントの目標、事故防止の基本対策、職員に求められる心がけ、事故発生時の対応を掲げ、施設内の事故や食中毒等の個別の事案に対応できるようマニュアルを作成している。 ・ヒヤリハット事例は、発生時に速やかに決裁を行って施設管理者に報告するとともに、直近の職員会議に議題として掲げ、職員全員で再発防止策を検討している。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防と発生時の対応を記載した感染症マニュアルを作成し、本園の看護師が講師となって、職員に対して年に2回感染症に関する研修を行っている。また、本園に併設する診療所においても、診療所の感染対策指針があり、常勤する医師が中心となって運用している。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震については、地震防災マニュアルを、開催については消防計画を作成している。また、契約児の保護者に対しては、「気象警報発令時の対応について」を年度当初の保護者説明会で保護者に説明している。 ・実際警報が発令された場合は、当園から一斉メールを送信し、注意を喚起する。 ・緊急対応時の連絡網を作成するとともに、1年に1回、抜き打ちの伝達訓練を行い、練達について不備がないか検証を行っている。 ・本園は、浸水予想区域や土砂災害警戒区域には位置していないが、洪水時の確保計画を作成して、岐阜市障がい福祉課に提出している。 		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供する福祉サービスについての標準的な実施方法は、療育マニュアルに明記し、実施している。 ・通園の手引きや重要事項説明書にも概要を明記し、年度の当初や契約時に契約児の保護者の説明し 		

ている。療育マニュアルの記載事項については、職員会議において職員全員で定期的に確認している。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児福祉を取り巻く状況は大きく変化してきており、対応を誤れば施設が存続できないほどの大きな変化が起きている。契約児の保護者も、ソーシャルネットワークによってもたらされる情報によって、要求される福祉サービスの水準が高まっている。そのため、職員会議や朝礼などの機会を捉えて、福祉サービスの質を高めることができるよう見直しを行っている。 ・PDCAサイクルに基づく目標管理制度の導入、個別支援計画の様式の大幅な変更、アセスメントシートの様式作成など業務の見直しを定期的に行っている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画は、児童発達支援管理責任者が中心となり、契約一人ひとりについて、契約児を担当する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師・保育士の各担当者の意見を集約して作成している。 ・作成案については、全員が参加する職員会議で検討を行っている。また、児童発達支援管理責任者が、個別支援計画通りに福祉サービスが提供されているかを常時、管理している。 ・処遇困難ケースについては、複数の担当を指名し、共同して対処するよう指導している。 		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の見直しは、児童発達支援管理責任者が中心となり、契約児を担当する理学療法、作業療法、言語聴覚、保育の各担当者とは話し合っている。 ・また、契約児や契約児を取り巻く環境が大きく変わった時は、緊急にでも計画を変更できるよう、各担当者が常時、情報を収集し、計画の変更が必要がないかチェックしている。なお、計画の見直しにあたっては、事前に保護者と面接を行って、面接記録を作成し、それに基づいてアセスメントシートを作成している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練については、契約児毎に診療録を作成し、身体の状態や疾病名、訓練にあたっての小児科医の所見、理学療法などのリハビリテーションの実施状況、契約児や家族の様子など個別支援計画にもとづくサービスが実施されていることを記録により確認できるよう配慮している。 		
改善できる点／改善方法：		

45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜地域児童発達支援センター組合において岐阜市の条例を準用する条例」第1条第15項の規定により岐阜市の条例を準用している。そのため、本園の個人情報保護は岐阜市個人情報条例及び岐阜市個人情報条例施行規則に準拠している。契約児毎に作成されている診療録などの記録は、施錠できるキャビネットに収納している。個人情報保護については、職員に対して研修を行い、制度の周知に努めている。契約児の個人情報を他の事業者に提供する際には、保護者から同意書を徴している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約児の自己意思決定を促すため、言語聴覚療法においては絵カードを用いて、自己の意思を確認し、自己決定を尊重できる取り組みを行っている。 ・また、契約児の保護者との面接によって、保護者が本園以外の福祉サービスの利用を希望する場合は、個別支援計画の地域支援欄にその旨を記載して、関係機関と連携しながら、様々な福祉サービスの基本情報を提供し、利用希望が実現するよう支援している。 	
改善できる点/改善方法：	

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	㊦・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待については厚生労働省が策定した「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」をテキストに研修を行っている。 ・また、児童虐待については、保護者による契約児への虐待が発見しやすい職場環境であることから、障害者虐待とともに研修を行うとともに、職員会議において、事案が疑われるときは検討を行い、関係機関に通報している。 ・保護者に対して子育てについてアドバイスしたり、レスパイトのためのショートステイを勧めたりして児童虐待を事前に防止し、保護者が安心して子育て出来る環境づくりに努めている。 	
改善できる点/改善方法：	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約児が少しでも自力で生活できるよう、保育においては保育所や特別支援学校に入所するための集団生活へ順応するための指導やトイレの排せつ指導、OTの服の着脱指導など様々な指導を通じて支援している。 ・また、契約児の特別支援学校の進路先決定支援や保育所、幼稚園への入所支援により契約児の自立に向けた支援を行っている。 	
改善できる点/改善方法：	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約児の99%が知的障害をもっており、コミュニケーションを取りづらい子どもがほとんどである。そのため、契約児の障害や発達に応じて紙カードやO×などのシンボルなどのツールを利用して、自己決定の機会を増大されるとともに、契約児とのコミュニケーションをとるよう努力している。 	

改善できる点／改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や来園する家族との面談、職員による家族に対する日常の声掛けによって、家族の思いや考え方を受けとめるとともに、子育てに関する相談や情報提供、子育てについての助言を行っている。 ・日頃から職員には、家族から気軽に声をかけてもらえるような人間関係をつくっておくよう指導している。 	
改善できる点／改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントに基づき契約児の保護者の様々な要望を可能な限り個別支援計画に盛り込んで、提供する福祉サービスの多様化を図っている。 ・余暇やレクリエーションについては、遠足や夏まつり、運動会、クリスマス会、節分の豆まき、月々の誕生日会などの行事を組み合わせて実施している。 ・行事については、保護者からの要望を踏まえて定期的に見直しを行っている。 	
改善できる点／改善方法：	
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な障害や疾病を抱える子ども達に、適切に対応できるよう、職員に対して様々な研修に参加させ、専門性の向上に努めている。 ・今年は、医療ケア児が増えていることから新たに、看護師に重心看護研修に参加させているほか、岐阜県看護協会の「小児看」の講義を受講させ、専門性の向上に努めた。 ・発達障害を抱える子どもが、契約児の多くを占めることから、専門職員を抱える岐阜市子ども・若者総合支援センター エールぎふとも連携して支援している。 	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(2) 日常的な生活支援

		第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。		㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食は、本園で調理して提供している。契約児は、障害や疾病により咀嚼する力が弱いうえに、保護者の食事の与え方も不適切な場合もあることから、給食時には子ども1人ひとりに職員を配置して、摂食指導を行っている。また、摂食指導を専門とするSTが毎日、指導する契約児を決めて指導しているほか、医師や看護師も指導を行っている。 ・給食は、普通食・きざみ食・ミキサー食の3種類を用意し、摂食機能に合わせて選択できるようにしている。さらに、保護者の要望により、給食メニューのレシピの提供や調理方法の指導もおこなっている。 ・排泄指導は、個別支援計画にも位置づけ、保育の中で積極的に行っている。トイレで排せつできたことにはスタンブラリーの用紙に1個ずつシールを張って子どもを励ますなど工夫を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
--	---------

A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内を清潔に保つために、毎日始業後に全職員によって清掃を行っている。また、体温の調節が十分にできない契約児がいることから、各部屋に温度計兼湿度計をおいて管理を行っている。 ・給食が終わった後、契約児を職員が預かり、その間、保護者同士が自由に話しあってもらい、リフレッシュできるように保護者のためのティータイムを設けている。 ・環境面についても、利用者アンケートを行い、意向の把握に努めている。 	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

		第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	㊤・b・c	
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの立場で個別支援計画の中に盛り込んで、計画的に実施している。 ・訓練に先立って小児科医が診察を行い、医師の指示・指導によって、それぞれに評価・治療を行っている。 ・理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名を配置しリハ実施計画書に従って訓練している。また、リハ計画書の更新の際には再評価を行っている。 ・補装具の専門業者2社が毎週月曜日に来園し、相談に応じているほか、整形外科医が2週間に1回診察を行っている。 		
改善できる点/改善方法：		

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

		第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	㊤・b・c	
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育及び訓練に先立って、本園の小児科医が診察を行い、バイタルチェックを始め診察によって、契約児の体調管理を行っている。 ・体調がすぐれない場合やインフルエンザなどの感染症の場合は保育や訓練を認めない場合もある。また、小児科医は、契約児の主治医と密接に連携して最新の病状を把握している。 ・大学病院とは病診連携協定を結んで、大学病院に通院する契約児の保護者の同意のもとに大学病院における契約児のカルテや検査結果を本園のパソコン端末によって把握できる環境をつくっている。 ・医師・看護師が中心となって、利用児の健康状態の把握を行っている。年2回健康診断を行い、成長の度合いも把握している。 		
改善できる点/改善方法：		
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	㊤・b・c	
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園に併設するポッポの家診療所の管理者である小児科医は、契約児の病状を毎日把握し、必要に応じて保護者への医療面での情報提供や服薬指導を行っている。 ・喀痰吸引や経管栄養などの医学的ケアは、医師や医師の指示を受けた看護師が実施している。なお、医療的ケアについては、医療ケア実施内規を作成し、契約児の保護者の同意書を徴したうえで、保護者の同意のもとで実施している。 ・医療ケアについては、医師・看護師による吸引の研修を行い、リハ職員も対応できるようにしている。食物アレルギーについては看護師が中心となり管理している。 		

改善できる点/改善方法：

A-2- (6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2- (6) -① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園の障害児と保育所の児童との交流が、健常児の障害児への理解を広げる効果が期待されることから、希望する保護者の意向を受けて、交流保育の支援を行っている。ただ、本園の障害児と健常児との知的な面や体力的な面でのギャップが大きく、保護者が精神的に傷つく場合も多く、その場合には保護者のフォローが必要である。 ・本園は、親子通園が原則であることから、子育てで孤立しがちな保護者を支援する目的のため、通園する保護者同士が友人となって、何でも話し合える人間環境をつくれるように支援している。 	
改善できる点/改善方法：	

A-2- (7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2- (7) -① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園の6月1日現在の契約児童48人のうち、地域の児童発達支援事業所、保育所、幼稚園を並行利用している児童は、重複を含めて35人に達している。そのほか短期入所や訪問診療、訪問看護を利用しているケースも目立ってきている。 ・このため、契約児の保護者が希望する多種多様な福祉サービスに関する情報を収集し、迅速に情報提供するとともに、関係機関と連携して利用を促進している。また、サービスに関するトラブルや不満に対する相談にも対応し、事業者に対する問い合わせや事業者間の調整も行っている。 	
改善できる点/改善方法：	

A-2- (8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2- (8) -① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に家族支援の項目を設け、計画的に家族への支援を行っている。サービス等利用計画や個別支援計画作成にあつての家庭訪問やモニタリングの際の個別面接、園内での日常的な職員による声掛けなどあらゆる機会をとらえて契約児の保護者と意見を交わし、アドバイス等によって支援を行っている。 ・契約児を、生んで間もないために、子どもの障害を受け入れられていない保護者や家庭内で夫などの家族から子育ての協力得られず、孤立している母など、支援を必要としているケースが増えてきおり、職員の家族支援のスキルアップに努めている。 	
改善できる点/改善方法：	

A-3 発達支援

A-3- (1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3- (1) -① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約児の療育については、契約児の障害の程度や発達の状況に合わせ、保育における集団活動と訓練における個別活動を組み合わせながら実施している。 	

<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの活動プログラムは、個別支援計画に基づき児童発達支援管理責任者が中心となって、担当する訓練や保育の担当者間の調整を行いながら、チームを組んで支援を行っている。 面接などを通じて、契約児の保護者の要望を聞きながら、特別支援学校や保育所、幼稚園、児童発達支援事業所の情報提供や通園にあたって起きるであろう障害の除去などにより、利用の支援を行っている。
改善できる点/改善方法：

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： 非該当	
改善できる点/改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： 非該当	
改善できる点/改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： 非該当	
改善できる点/改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	㉑・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師といった専門職が職員の多くを占めるため専門性の観点から他の職種の職員がスキルを評価するのは困難であるため、職種ごとに組織されているPT協会などの職種ごとに組織される団体の研修会に参加させ、年間3回から4回開催される実技講習によって他の職員から評価を受けさせることによってスキルアップに努めている。 職員のスキルアップとプレゼンテーション能力の向上のため、研修担当職員がテーマを定めて講師となり、全職員を対象に3か月に1回程度研修を行っている。 	
改善できる点/改善方法：	

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A㉑ A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要なIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： 非該当	

改善できる点／改善方法：